

校長室だより No 25

## 学校評価結果を公表

2026年 3月10日 柏市立富勢小学校 校長 梅津 健志

2025年度も終わりに近づいてきました。卒業式まであと1週間となり、別れと出会いの春が足音を立てて近づいてきました。今年度の教育活動を振り返るための学校評価にご協力をいただきありがとうございました。教育委員会へも今週末に報告を上げますが、HPより本日公表しましたので、ご覧いただくと幸いです。

今年度は大きく変えたシステムとして、4年生以上における学年担任制と3年生以上の教科担任制です。教科担任制については一定の好評価を得ていますが、学年担任制についてはまだ中途段階で、来年度へ向けた取り組みに結果を反映できるよう、準備を進めて参りたいと思います。

小学校における学級担任制は、150年以上の長い習慣に基づいてきましたが、学級担任による学級経営という一人の担任に依存した制度は、現状の学校が置かれている状況下では、制度疲労をしています。多くの学校で複数の学級が機能しなくなっている状況が見られます。個人経営では対応できず、組織経営が求められているのです。組織経営がチーム担任制の学年担任となります。

多くの子どもたちは学年担任制を高評価しています。一部に学校での生活に困り感を持っている子は固定担任制を求めているのも事実です。一方で大人は学級担任制に適応してきていますので、新たな制度に抵抗を示します。先生たちも自分でいい学級を創る自信のある先生ほど、新たな制度には抵抗しがちです。私も他の先生に負けない絶対的に良いクラスを創ろうと意気込んでいた時期がありました。それはそれは楽しい時期でした。しかし、流山から柏に転勤して5年生を担当し、5クラス中4クラスが転勤してきた先生という学年に配属された時、考えは変わりました。その学年は4年生の時に5クラス中4クラスが学級崩壊をしていた学年だったのです。卒業までの2年間、子どもたちも学習内容等でクラスを超えてグループ編成を行い、先生も入れ替わり立ち代わりの対応をして、難局を乗り越え、立派に卒業を迎えた記憶があります。本当に困難な学年でしたが、確実な力が身に付いた2年でした。当時私は11年目の教員でしたが、あと4クラスは全て私よりも年上のベテラン教員で、チームで取り組むことにより多くの学びがありました。私はそれ以来29年間、学級という組織を一人で経営するのではなく、チームで経営していくことを考え、コース別の校外学習やテーマ別の探究学習などを進め、今の個別最適で協働的な学びに近づくことをしてきました。

来年度はさらにチーム制を高めて安心感を引き出すことに努めていきたいと考えています。